



《将来に向けた取組方針》

マツダグループは、自動車製造・販売の事業活動で受ける自然の恵みと自然への影響の重要性を認識し、「マツダ生物多様性ガイドライン」に基づき、社会・地域と連携した生物多様性の取り組みを展開しています。

【重点取り組み項目】

1. 環境に配慮した技術と商品の創造
2. 資源・エネルギーを大切にせる企業活動
3. 社会や地域との連携・協力
4. 啓発と情報開示

マツダは「生物多様性に関する影響度評価」の結果を踏まえ、社会との連携や従業員をはじめとした幅広い啓発活動を行っています。また本業においては「エネルギー」や水資源を含む「資源」を重点として生物多様性への影響を軽減するための商品・技術およびその生産・物流工程で取り組みを進めています。

〈具体的取組み事例〉

1. 環境に配慮した技術と商品の創造

- ・ SKYACTIV 技術による「ベース」技術の徹底的な改善。
- ・ マツダらしい電気自動車の市場導入。
- ・ リサイクルに配慮した開発・設計。

2. 資源・エネルギーを大切にせる企業活動

- ・ 生産工程の設備稼働率の向上、サイクルタイム短縮。
- ・ 地産地消を考慮した生産拠点の最適化。

3. 社会や地域との連携・協力

- ・ マツダの森など、森林保全活動の実施。

4. 啓発と情報開示

- ・ 三次事業所（広島県）の生態系調査で発見した生き物についてニュースレターを発行し、従業員への啓発活動を実施。



SKYACTIV-X



三次事業所（広島県）での生態系調査

〈今後の課題等〉

- ・ 車両走行段階に加え、エネルギーの採掘、製造、輸送段階のCO₂排出評価も組み入れた「Well-to-wheel」視点での企業平均CO₂排出量の削減に取り組みます。
- ・ マツダグループでは、製造から廃棄までのライフサイクル全体での脱炭素・低炭素化を達成すべく、グローバル工場／オフィス／物流からのCO₂総排出量の削減に取り組みます。

〈社会に向けたメッセージ〉

- ・ マツダグループは、国内・海外での事業活動を通じた生物多様性の取り組みで、人と自然が調和した豊かで持続可能な社会づくりとその発展を目指します。